



ほこた市

議会だより

平成29年1月31日発行

No.46



平成28年第4回(12月)定例会 第3回臨時会

平成28年第4回定例会の日程・概要	P2
平成28年第4回定例会 主な質疑／主な討論	P3
提出議案と審議結果	P2~3
平成28年第3回臨時会	P4
各議員の賛否	P5
議員活動状況	P5
ここが聞きたい! 一般質問	P6~11
主な議会の動静	P11
委員会活動報告	P12~15
議会報告会のお知らせ	P15
傍聴者の声 平成29年第1回(3月)定例会の予定	P16

第12回ほこたハーフマラソン大会



平成28年第4回定例会の主な日程

- 12月2日(金) 本会議
 - ・開会
 - ・行政報告並びに市長提出議案の説明
 - ・委員長報告
- 12月6日(火) 本会議
 - ・一般質問
- 12月7日(水) 本会議
 - ・一般質問
- 12月9日(金) 総務企画常任委員会
- 12月12日(月) 経済建設常任委員会
- 12月13日(火) 厚生文教常任委員会
 - 原子力施設の安全に関する調査特別委員会
- 12月16日(金) 本会議
 - ・市長提出議案の質疑・討論・採決
 - ・議案第4号の提案説明・質疑・討論・採決
 - ・市長公用車に関する調査特別委員会委員長報告
 - ・議案第5号の提案説明・質疑・討論・採決
 - ・閉会

第4回定例会の概要

平成28年第4回定例会は、12月2日から12月16日までの15日間の会期で開かれまし

た。議案は、市長から銚田市印鑑条例の一部改正などの条例案や平成28年度一般会計等の補正予算案、相互救済事業の委託、財産の取得、市道路線の認定、教育委員会委員の任命の13件が提出されました。

議員からは、地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出及び市長公用車の運用に関する決議の2議案を提出しました。

請願は、東海第二原発の「安全協定」見直しを求める請願が提出されました。

一般質問は、9人の議員から通告があり、中心市街地の賑わいの創出についてや子育て環境の充実について、市の公共施設等の管理計画について、子どもの貧困対策についてなどの質問を行いました。

委員会は、各常任委員会です管事務調査を行い、原子力施設の安全に関する調査特別委員会では請願審査を行いました。

また、市長公用車に関する調査特別委員会が、執行部に対する意見等をまとめた最終報告を行いました。

今定例会では、市長及び議員が提出した全議案が可決され、請願は継続審査となりました。

平成28年第4回定例会

〔本会議〕
12月16日

議案第12号 市道路線の認定について

主な質疑

問 【井川 倫士 議員】この市道に対して、近隣住民の理解や反対等の状況をお聞きます。

答 【建設部長】28年8月に、この地区（西台地区及び飯名地区）において道路の説明会を実施した際には、反対者はありませんでした。

問 【井川 倫士 議員】これは市民交流館に付属して作られる道路ということ、(仮称)銚田市民交流館の総額で50億円という枠の中に、この道路も入るといふ理解でよろしいか伺います。

答 【総務部長】これはインフラ整備の一環ですので、市民交流館の建設費の中に入っております。

主な討論

○反対討論

（岸田 一夫 議員）市民交流館の場所の選定においては不透明感が漂い、また、この道路に係る費用は市民交流館の関連費用には含まれておらず、関連費用が際限なしに増え続けるきつかけとなるようなこの議案は到底承服できるようなものではないと。さらに、市民交流館の実設計が完成しつつあるのに、いまだに稼働率及び維持管理費について示されていないことから、本案に反対いたします。

○賛成討論

（渡辺 拓哉 議員）この道路は狭あい湾曲している本地域の道路状況を考慮したバイパス的な道路であり周辺道路の混雑緩和と地域住民の利便性向上を図る上で大変重要な道路です。また、災害時における避難道路として防災機能を果たす役割としても機能性が高く、地域住民にとっても大変有益であり、本路線の事業整備の必要性は極めて高いことから、本案について賛成の意を表します。

提出議案と審議結果

○全員賛成 ●賛成多数 ▲賛成少数 △継続審査

平成28年第3回銚田市議会臨時会

財産

●財産の取得について

その他

- 市道路線の変更について
- 市道路線の変更について

平成28年第4回銚田市議会定例会

条例等の一部改正

○銚田市職員の給与に関する条例等の一部改正について

○銚田市印鑑条例の一部改正について

平成28年度補正予算

○平成28年度銚田市一般会計補正予算（第4号）

9億2,559万円の増額

○平成28年度銚田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

67万3千円の増額

○平成28年度銚田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

20万1千円の増額

○平成28年度銚田市介護保険特別会計補正予算（第3号）

5,055万2千円の増額

○平成28年度銚田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）

26万3千円の増額

○平成28年度銚田市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）

27万2千円の増額

○平成28年度銚田市水道事業会計補正予算（第2号）

収益的収入及び支出 14万8千円の増額

資本的支出 31万4千円の増額

人事

○銚田市教育委員会委員の任命について

財産

●財産の取得について

その他

○相互救済事業の委託について

●市道路線の認定について

請願

△東海第二原発の「安全協定」見直しを求める請願

議員提出議案

意見書

○地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出について

決議

●市長公用車の運用に関する決議



平成28年第3回臨時会の議事日程

- 11月14日(月) 本会議
- 開会
 - 会議録署名議員の指名
 - 会期の決定
 - 諸般の報告
 - 市長提出議案の説明・質疑・討論・採決
 - 閉会

第3回臨時会の概要

平成28年第3回臨時会は、11月14日の1日の会期で行われました。議案は、市長から財産の取得及び市道路線の変更が提出されました。

財産の取得は、(仮称) 鉾田市民交流館の事業用地の取得にかかる議案で、質疑では、(仮称) 市民交流館の用地選定の経緯や事業用地の詳細な内容、進入路を設置する理由についてなどの質疑がありました。討論のあと、採決を行い、賛成多数により可決されました。市道路線の変更については、(仮称) 鉾田市民交流館の整備に伴い市道路線を変更する議案と鉾田南中学校区統合小学校の整備に伴い市道路線を変更する議案の2議案が提出されました。質疑、討論のあと、採決を行い、2議案とも賛成多数により可決されました。

議案第1号 財産の取得について

○提案趣旨 (仮称) 鉾田市民交流館の事業用地として財産を取得することについて、地方自治法の規定により議会の議決を求めるものです。

主な質疑

問 「高野 衛 議員」面積が2万7161平米ということ、2月に実施した住民説明会から変更になっていますが、その理由を伺います。

また、不動産鑑定にかけたということですが、鑑定はいつ行われたのか、鑑定に当たっては、何名の方に鑑定をお願いしたのか伺います。

答 【総務部長】面積については、調整池を計画していた場所の地権者の同意が得られなかったということ、若干の変更がありました。

また、鑑定は平成26年度の当初予算で認めていただいた後の平成26年8月22日に行っています。それから、調整池の3筆ほど場所が変更となった部分は、平成28年の1月に鑑定を行っています。不動産鑑定は、3者の見積もりをとり、そのうちの2者において、鑑定をしています。

主な討論

○反対討論 (井川 倫士 議員) 市民交流館の用地取得には、初めに用地選定の経緯の説明が実際とは相違していたこと。次に、そもそも文化のビジョンがきちんと示されていない状況であり、事業の計画性の甘さがあり納得しかねること。さらに、事業規模や稼働率が明確でなく、維持管理費がどの程度になるのかわからない状況では認めるわけにはいかないこと。以上の3点の理由から、反対を表明いたします。

○賛成討論 (倉川 陽好 議員) 移住してくる方が何を目印にするかといえ、文化施設、医療施設、そして雇用の場です。そういうものを1つずつくってやっていかなければ、これからの人口維持もできません。これからは、皆さんがどのようにまちづくりに対して考えを持っているか、そして将来の子どもたちにとって夢のあるまちにするのには何をやるかだと思えます。鉾田を明るいまちにするために、議案第1号に対して賛成をいたします。

議員の賛否が分かれた議案

会議名	議案名	議員名		井川倫士	渡辺拓哉	亀山彰	岸田一夫	二重作茂兵衛	郡司功	小沼勝	根岸眞	水上美智子	入江晃	岩間勝栄	井川茂樹	米川宗司	友部政徳	山口徳	田口清一	堀田正衛	高野衛	倉川陽好	採決結果	
		反対討論	賛成討論																					
第3回臨時会	財産の取得について	井川(倫)	高野	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の変更について	高野	友部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の変更について	高野	倉川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第4回定例会	財産の取得について	高野	入江	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の認定について	岸田	渡辺	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市長公用車の運用に関する決議	倉川	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 議：議長 退：退席

市議会議員活動状況

H28年10月1日～12月31日

期日	議会・委員会	1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		井川倫士	渡辺拓哉	亀山彰	岸田一夫	二重作茂兵衛	郡司功	小沼勝	根岸眞	水上美智子	入江晃	岩間勝栄	井川茂樹	米川宗司	友部政徳	山口徳	田口清一	堀田正衛	高野衛	倉川陽好
10月4日	市長公用車に関する調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月5～7日	総務企画常任委員会視察研修	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10月11日	議会運営委員会	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10月11日	平成28年第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月11日	議会広報編集委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月12～13日	百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会視察研修	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10月17日	平成28年第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月18～20日	議会運営委員会視察研修	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10月21日	議会広報編集委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月24日	市長公用車に関する調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月1～3日	経済建設常任委員会行政視察	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11月9～11日	厚生文教常任委員会行政視察	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11月14日	議会運営委員会	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11月14日	平成28年第3回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月14日	市長公用車に関する調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月28日	議会運営委員会	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12月2日	平成28年第4回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月2日	議会運営委員会	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12月2日	市長公用車に関する調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月6日	平成28年第4回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月6日	市長公用車に関する調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月7日	平成28年第4回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月7日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月9日	総務企画常任委員会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12月12日	経済建設常任委員会	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12月13日	厚生文教常任委員会	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12月13日	原子力施設の安全に関する調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月16日	平成28年第4回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月16日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月16日	議会運営委員会	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12月16日	原子力施設の安全に関する調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月16日	議会広報編集委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：出席 欠：欠席 -：当該委員会等に所属していない議員





小中学校の空調設備について

岸田 一夫 議員

問 小中学校の空調設備についてお伺いします。

答 【教育部長】市内の小中学校の現状ですが、小学校では旭東小、旭南小、旭西小、旭北小、銚田北小で冷暖房が完備されています。そのほかの11校では扇風機を設置しています。暖房設備は、6校でダクト方式、5校でストープやヒーターを設置しています。中学校では旭中、銚田北中ですが、銚田南中、大洋中

では、扇風機やストープで対応しています。

今後、統合小学校開校に合わせて整備を進めていきたいと思えます。また、中学校は早期に改善できるように検討をしています。

再質問 なぜ子どもたちの教育環境に格差があるのですか。前回に教育長は、海の近くの学校は窓を開ければ涼しい、市長は夏休み云々と言っていました。銚田の宝である子どもたちに、統合まで待たせるのですか。大洋地区

では6年間冷暖房なしです。その点についていかがか。

答 【教育部長】空調が設置されているところは、騒音の問題があり、騒音のない地域との格差を解消するというところで、窓を閉めなければならぬ地域は空調設備に取り組んだわけです。暖房は空調設備ではない方法でも対応が可能で、冷房も、冷風扇というもので、実態に合わせて対応していきたいと考えています。

再質問 統合するから要らないよ、空調設備

はつけないよと、そういう部分が見えて納得しかねるが市長の考えは。

答 【市長】今は温暖化もあり、統合小学校は当初から整備したほうが経済的であるため整備することになりました。今後は暑さのために整備していきたいと思っています。ただ、これまでは騒音地域の格差を解消するためにやってきており、暑さのためではないことはぜひご理解いただきたいと思います。



農業の担い手不足解消について

亀山 彰 議員

問 農家への外国人研修生、実習生の受け入れ人数を教えてください。

答 【産業経済部長】銚田市内では、平成28年10月末現在で、1775名の研修生及び実習生の登録があります。

また、10月4日に開催されました国家戦略特区諮問会議において、農業分野で特区への外国人労働者の受け入れを検討する方針が安倍首相によって示され、さらに農業分野への外国人受け入れは特区の重点課題だと強調されました。しかし、制度の詳細は今後検討となっています。今後、制度の詳細を注視していく一方、その内容が本市の農家や生産団体にとって利点があるものかどうかを見きわめて判断し

ていく必要があると考えているところです。

再質問 研修生制度等が変わり、銚田市から研修生や実習生が居なくなる事態になると、農業生産に大打撃を与えてしまう事になります。現状、銚田市の農業生産には外国人労働力は欠かせないと思われ、ですので、特区取得について真剣に取り組んでいただきたい。

答 【市長】銚田市の農業は全国でもトップクラスの売り上げを誇っています。

ます。そういう中で、もし研修生がいなくなったら、本当に大きな打撃になると認識をしています。ただ、制度に則って、不法という形にならないようにきちんとやっていかなければならないと思っています。

特区については、我々は農業関係においては少なくともトップランナーで走っていること、いろんなことに取り組みしています。この件に関しても情報の収集に努め、いち早く取り組んでいきたいと思っています。

ここが聞きたい! 一般質問

平成28年 第4回 銚田市議会定例会 一般質問通告順

議員名	質問事項
亀山 彰	1. 農業、建設業担い手不足解消について 2. 教育現場について 3. 市民意識調査 4. 市民交流館について
岸田 一夫	1. メディア対応全般について 2. 学校教育について 3. 中心市街地の賑わいの創出について 4. 市長のトップセールスについて
入江 晃	1. デマンドカーについて 2. エコハウス周辺の親水公園計画の進捗状況について 3. 基金について
水上美智子	1. 教育の充実について 2. 防災教育の充実について 3. 子育て環境の充実について 4. 高齢者が安心して暮らせる環境づくりについて
渡辺 拓哉	1. 犬猫の去勢、不妊手術の助成金について 2. (仮称)市民交流館の発注について 3. メロンサミットの視察について
倉川 陽好	1. 市の公共施設等の管理計画について 2. 市の借地等の契約等の見直しについて 3. 市の災害等の危機管理について 4. 防犯対策について 5. 宅地等の市の基準について

議員名	質問事項
井川 倫士	1. 市民協働のまちづくりに向けた市民ニーズ及び市民満足度の継続的把握について 2. ひとり親世帯の生活実態把握と支援策について
高野 衛	1. 銚田中央公民館の改修計画問題について 2. 子どもの貧困対策について 3. 障害者雇用について 4. 上山銚田工業団地に進出予定の産廃業者への対応について 5. 猪対策について 6. 道路の整備について
根寄 眞	1. 国民健康保険の制度改革と銚田市の医療費削減への取り組みについて 2. 郷土愛を育むための文化財保護活用について

ホームページで一般質問の会議録が見られます

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。

①銚田市のホームページへアクセスする。
アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>

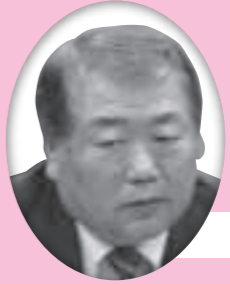
②市ガイド内の「銚田市議会」をクリックする。

③会議録をクリックする。

なお、今定例会の会議録公開は、3月頃の予定です。本会議の会議録(冊子)は、市立図書館で閲覧できます。

銚田市議会





デマンドカーの運行ができない地域への対応について

入江 晃 議員

問 デマンドカーの運行ができない地域への対応として、タクシー券もしくは割引券等の対応も必要かと思いますが、市の考えをお伺いいたします。

用いたいただいている方々、特に利用頻度の高い方の理解を得ることが必要であると同時に、事業廃止に伴い、運行事業者に対する補償問題の発生や関係機関とのさまざまな調整が必要となることを想定されます。そして、バス路線や鉄道輸送、そしてタクシー事業者を含む市全体の公共交通体系のあり方について合意を得ることが必要であります。65歳以上の人口が30%を超えた当市の人口構成を踏まえ、

財政負担が大きく、実施は困難と言わざるを得ないかと思っております。
再質問 デマンドカーを廃止しないと、タクシー券の割引ができないとのことですが、デマンドカーは市でも1200万円近い予算を投資して行っているわけですが、当然片道300円いただいているにもかかわらず、デマンドカーがない地域にとつては逆に不公平なのではないかと思えます。デマンドカーを利用した

くてもできない地域に、タクシー券の割引をしたり、ボランティア等に補助を出したり、買い物難民の方を手伝ってあげるようなNPO法人にやってもらうなどの方法も出てくると思いますが、いかがか。
答 【健康福祉部長】バス路線や、タクシー事業者を含む市全体の公共交通のあり方について、関係機関と協議しながら検討させていただければと思います。



子育て環境充実のためのワンストップサービスについて

水上 美智子 議員

問 子育て環境の充実について伺います。行政機関や相談機関がスムーズに対応できるように、ワンストップサービスの充実を図っていただきたいと以前提言をさせていただきましたが、現在の進捗状況を伺います。

手続や相談等に対応できるワンストップサービスの窓口を開設します。現在は、申請手続や相談等が円滑に行えるよう、関係課との協議を進めているところであります。
再質問 申請手続や相談等がワンストップサービスになるということは、銚田市の出生率向上にもつながる素晴らしいことだと思えます。
子育て世代包括支援センターの開設に向けて、

内容を充実させようとしているところだと思えますが、そういう中で、専門の職員というのは具体的にどういう方を配置するのか、現在そのまで協議をしているのかを伺います。
答 【健康福祉部長】どのような人員配置を考えているかということですが、コーディネーターとして保健師及び社会福祉士、それと子育てコンシェルジュとして保育士等、その他事務職員として

若干名を考えているところです。
提言 先進的に取り組むのを調査研究しながら、また県のほうとも連携をとりながら、妊娠期から子育て期間までの母子の心身のケア、また育児のサポートをする総合的な支援体制として、この子育て世代包括支援センターが成功するように、しっかりと対応をしていただきたいと思えます。



犬猫の去勢・避妊手術への助成について

渡辺 拓哉 議員

問 犬猫の去勢・避妊手術の助成金について伺います。銚田市の犬猫の殺処分頭数として、平成26年で犬147頭、猫57匹です。猫が少ないのは、動物愛護管理法で、犬は狂犬病などがあるため捕獲することができますが、猫は捕獲できないからです。また、銚田市の市道で交通事故により死んだ犬猫は、平成27年で犬3頭、猫41匹です。殺処分や交通事故をなくすために、そして、

野良犬や野良猫を減らすために、子どもが生まれても飼えない方は、飼い犬・飼い猫に、ぜひ去勢・避妊手術をしていただけたらと思います。そのためには市で助成金を出してほしいと思います。鹿行地区では銚田市だけが助成金がないようです。ペットを飼うのにはお金がかかります。しかし、お金がかかっても、心の寂しさを埋めるためにペットを飼うことが必要なの方もいます。ペットの

飼いやすい銚田市を目指すことにより、ストレスで自殺する人を減らしたり、年輩の方の認知症の予防にもなり、健康な銚田市を目指せるのではないのでしょうか。去勢・避妊手術の費用は、1万円から3万円くらいかかり、助成金は平均3000円から5000円くらいです。どうかご検討ください。
答 【市民部長】犬猫の去勢・避妊手術への助成について、本市で

は、平成18年度まで去勢・避妊手術についての補助金を交付してまいりました。しかし、その後市全体の補助金の見直しを行った結果、平成19年11月に廃止をした経過があります。しかしながら、野良犬、野良猫を減らす方策というのには、飼い主と一緒に考えていかなければならないと認識しているところです。今後は県内の市町村の動向を見ながら検討していきたいと考えています。



公共施設管理計画について

倉川 陽好 議員

問 当市では、公共施設の縮減にどのように取り組む、施設運営や施設統合問題に取り組んでいくのか。そして、これからの公共施設のマネジメントやアセットマネジメントとしての視野を広げ、これまでの単年度現金主義の財政運営の発想の転換を図ることが必要になつてくると思いますが、これからの公共施設の取り組みについて見解をお尋ねします。

総合管理計画を策定中であり、おおむね素案がまとまりつつあります。銚田市が保有する全公共施設等の将来更新費用を「公共施設更新費用試算ソフト」により、今後40年間、現在の市有施設を保有し続けた場合の費用を試算し、その結果に基づき、今後の人口減少等を踏まえた公共建築物の総量適正化、効率的な施設運営及び長寿命化の推進により、財政負担の軽減、平準化を図り、健全な財政運営に努めるため、計画を策

定しています。今後、公共建築物の適正化を図るため、統合された施設については、民間事業者等への売却等も進めたいと考えています。また、民間事業者等による利活用、いわゆる公民連携の手法については、地域のニーズを踏まえた上で今後検討していきたいと考えています。
再質問 これから銚田市でも市民交流館や学校等ができてきます。老朽化した公共施設は減ら

していくのも財政負担を軽くすると思いますが、見解を伺います。
答 【総務部長】今後40年の市保有の公共建築物を30%削減するという最終目標で、管理計画を策定しています。また、公民連携は非常に大切なことと思います。いかに民間の内容を取り入れて、有効に活用していただくかも、今後十分検討していきたいと考えています。





公共交通の将来ビジョンを見据えた計画策定について

井川 倫士 議員

問 国の法律の中で、市の努力義務として地域公共交通会議と地域公共交通網形成計画をつくり、総合的な公共交通のあり方を考えていくことを課しています。これから交通弱者に対してどういったサービスを行っていくのかというときに、将来のため調査研究を行うっていくことは必要と考えます。これから10年を考えたとき、人口が4000人減り、出生数も3000人を切り、高齢化率はほとんど

上がっていく、65歳人口が4割近くになってしまいかもしれないと考えたときに、公共交通とそれを補完する行政が行うサービスを一体的に行っていく必要性がありますので、地域公共交通会議と地域公共交通網形成計画の検討をお願いいたします。

公共交通網形成計画をつくっていくかと思っております。県が主導ですが、鹿行地区において広域的にバス路線の10路線を仮定して効率のよい広域交通網を整備するために、鉦田市もその一員として加わって、現在検討しているところであります。

の計画的検討をすること。次に、地域公共交通の維持運営に取り組み、民間事業者に対する支援を行い、委託公営、公設民営方式による公共交通の運行、福祉バス、スクールバスも含めた計画的、効率的な運行を念頭に置いて計画を策定すること。次に、地域の関係者との連携を図り、リーダーシップを発揮して取り組むこと。この3点に留意しながら計画策定をお願いしたいと思います。

問

上山鉦田工業団地に進出予定の産業廃棄物の業者は、県に許可申請の手続に入りました。敷地から300メートル以内に住民がいいため、住民の同意は必要ないと思いますが、市はどのような考え方で対応するのか伺います。

答

【市民部長】PCB廃棄物は特別管理産業廃棄物であり、処理を行うためには国または県の許可が必要となります。県に確認したところ、書類の不備等により現在受理はされていないということです。また、県では今後審査手続が開始された場合には、法令等の規定に基づき、審査を行うということですが、市としては、手続の進捗状況等について県との情報共有を図りながら、県の定め

【市民部長】PCB(猛毒物質)を扱う企業の進出には反対だと言った場合には、この計画は中止にはならないか伺います。また、工業団地内の企業の了解がなくても差し支えないのか伺います。

【市民部長】これは、事業者の同意については、住民も事業者も含めて300メートル以内であれば同意が必要となります。公害が出るおそれのある企業は誘致しませんが、いかがが。



工業団地に進出予定のPCB処理業者への対応は

高野 衛 議員

文化財の保護活用計画を策定する考えはあるか

根寄 眞 議員

問 厳しい本市財政にあつて、文化遺産を保護するための予算を有効に生かすためには、その保護活用計画は必要不可欠ですが、文化財保護計画はあるのか伺います。

【教育部長】文化財保護活用計画についてですが、平成11年3月24日付通知、文化庁の「重要文化財(建造物)保存活用計画策定指針」では、計画策定を義務化するものではなく、所有者等による自主的な計画策定を促す内容となっております。当市では、市文化財保護条例を運用し、文化財の保護、活用に努めているところで、現在は保護計画策定は予定していません。なお、具体的な条例による対応として、文化財の修復管理に関する補助、指導のほか、警防訓練、巡視活動、周知、文化財展示、校外学習受け入れなど文化財の保護、活用に資する各種の事業を実施しています。市としては、計画の必要性を研究検討して

再質問 文化遺産の保護活用計画策定の予定はないということですが、三階城の用地購入などの話が進んでいます。急に出てきた話としか受け取れません。だから、文化財保護計画を策定し、鉦田市にとっても文化財は重要なんだということを示してほしいと思います。そういう面で答弁をお願いします。

【教育部長】文化財保護計画をつくった水戸市ですが、内容的に、項目からいうと、策定のねらい、大きな2項目として文化財の現状と保存管理、3項目として文化財の保存・管理方針、4番目として文化財の普及・活用という見出しで保護計画を策定しています。鉦田市の文化財保護条例も内容的には保護計画とそう変わらない条例になっているため、必要により今後考えていきたいと思

主な議会の動静

11月

- 1日～3日 経済建設常任委員会行政視察(新潟県・山形県)
- 9日～11日 厚生文教常任委員会行政視察(静岡県・山梨県)
- 14日 議会運営委員会
- 14日 平成28年第3回臨時会
- 14日 市長公用車に関する調査特別委員会
- 15日～16日 県市議会議長会第1回議員研修会(神栖市・潮来市)
- 28日 議会運営委員会

12月

- 2日～16日 平成28年第4回定例会
- 2日 議会運営委員会
- 2日 市長公用車に関する調査特別委員会
- 6日 市長公用車に関する調査特別委員会
- 7日 全員協議会
- 7日 議会運営委員会
- 9日 総務企画常任委員会
- 12日 経済建設常任委員会
- 13日 厚生文教常任委員会
- 13日 原子力施設の安全に関する調査特別委員会
- 16日 全員協議会
- 16日 議会運営委員会
- 16日 原子力施設の安全に関する調査特別委員会
- 16日 議会広報編集委員会

1月

- 13日 正副議長並びに正副委員長会議
- 17日 県市議会議長会第2回議員研修会(北茨城市)
- 19日～20日 県市議会議長会定例会
- 20日 議会広報編集委員会



委員会活動報告

市長公用車に関する

調査特別委員会最終報告

当委員会は、市長公用車の運転日報が不記載であったことから、①運転日報不記載の原因と経緯、②市長公用車の運用が公私区別され適切であったか、③この事態を招いた責任の所在を調査するため設置されました。委員会では、市長や副市長、市長公用車運転手、歴代の秘書広聴課長・秘書室長などに対する聞き取り調査及び市長スケジュール表、旅行命令簿などの資料の確認調査を行いました。

調査の結果、当委員会では次のとおり判断し、最終報告を行いました。

運転日報不記載の原因と経緯

・不記載の原因は、市長公用車運転手、歴代の秘書広聴課長・秘書室長が、銚田市庁用自動車管理規程を熟知することなく、認識が甘く職務怠慢であったため。

市長公用車の運用が公私区別され適切であったか

・市民の目線からは不適切と感じられかねない会合の出席に、公用車を使用することには疑問を感じるが、明らかに私的な事由での公用車の使用は見受けられない。

この事態を招いた責任の所在

- ・市長：管理監督責任及び管理職等任命責任有り。
- ・副市長及び総務部長：管理監督責任有り。
- ・歴代の秘書広聴課長・秘書室長及び安全運転管理者：銚田市庁用自動車管理規程違反及び監督責任有り。
- ・市長公用車運転手：銚田市庁用自動車管理規程違反。

委員会活動報告

総務企画常任委員会行政視察

開催日：平成28年10月5日(水)～7日(金)

企業誘致、コミュニティバス、防災対策の取り組みについて調査研究するため、和歌山県の橋本市及び広川町に行政視察を行いました。

橋本市では、企業誘致の取り組みにおいて、地方自治体でトップクラスの奨励金制度を設けるなど参入企業の優遇制度を充実させており、33社の企業誘致に成功し雇用創出を生み出していました。また、コミュニティバスについては、交通空白地域に居住し、交通手段を持たない高齢者等の主要公共施設等への交通手段の確保を目的としており、今後は、効率的で持続可能な公共交通を目指すため、デマンド交通の導入などを検討してまいります。

広川町では、防災対策として、震災時に夜間の避難道を照らし被災者の安全を確保するための蓄電池内蔵型避難誘導灯の設置を進めるなど様々な防災対策を実施してま



平成28年第4回定例会

（本会議）
12月16日

議案第5号

市長公用車の運用に関する決議

（提出者／市長公用車に関する調査特別委員会委員長 郡司 功）

市長公用車の運転日報が不記載であったため、市長公用車に関する調査特別委員会を設置し、市長公用車の運用について調査を行った結果、不記載の原因及び責任の所在は明確となった。また、調査の過程において、事務処理に誤りや記載漏れが見られる状況にあった。よって、市執行部においては、再発防止を図るうえでも、下記の事項について、迅速かつ万全の措置を講じることを強く求める。

- 一、旅行命令簿、スケジュール表及びその他提出書類を照合したところ、誤記や記載漏れが見られたため、事務処理の正確性を求める。
- 二、条例、規則等が遵守され、行政事務が的確に実施されているか総点検をすること。
- 三、監査委員会の監査委員の行政監査を強化すること。
- 四、再発防止のため、当該関係職員に対して、地方公務員法等に基づき適正に対処すること。
- 五、市長・副市長は、自らを律するとともに、職員に対する管理監督者であることの責任を重く受け止め、市民に不信を抱かせないよう行政運営に努めること。

百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会行政視察

開催日：平成28年10月12日(水)～13日(木)

本市の懸案事項である百里基地の航空機騒音問題等について、基地が所在し本市と同様の課題を抱える岩国市の取り組みを調査研究するため行政視察を行いました。

岩国航空基地は、海上自衛隊岩国航空基地も米軍が管理する基地を使用する形で設置され、岩国飛行場は米軍海兵隊と海上自衛隊が使用する官有の飛行場・基地で、民間機就航空港「岩国錦帯橋空港」としても使用されております。

岩国市は、基地についての国の施策であるため存在については認めるが、地域の振興に影響が及ぼっていないという方針で、基地障害の軽減対策及び基地周辺整備事業を積極的に促進してまいりました。

当委員会でも地元住民の不安解消に向けて、防衛省への要望活動などを行っていき、住民生活の安定と福祉の向上を目指してまいります。



委員会活動報告

議会運営委員会視察研修

開催日：平成28年10月18日(火)～20日(木)

議会改革や議会の監視権のあり方について調査研究するため、第11回全国市議会議長会研究フォーラムに参加し研修を行いました。

始めに、「二元代表制と議会の監視機能」をテーマにした基調講演が行われ、二元代表制の直接公選の理由、チーム議会の実現等についての講演がなされました。

次に、「監視権の活用による議会改革」についてパネルディスカッションが行われ、地方自治法で定められている契約締結及び財産の取得・処分範囲拡大をめぐって、パネリストから発表がありました。

また、「監視権を如何に行使すべきか」をテーマに課題討議が行われ、自己決定・自己責任の経営をし、自ら考え自ら決める議会への議会改革に取り組む必要があるとの意見がありました。

議会改革をより一層推進するため研修で学んだ成果を、今後の議会活動に活かしてまいります。



経済建設常任委員会行政視察

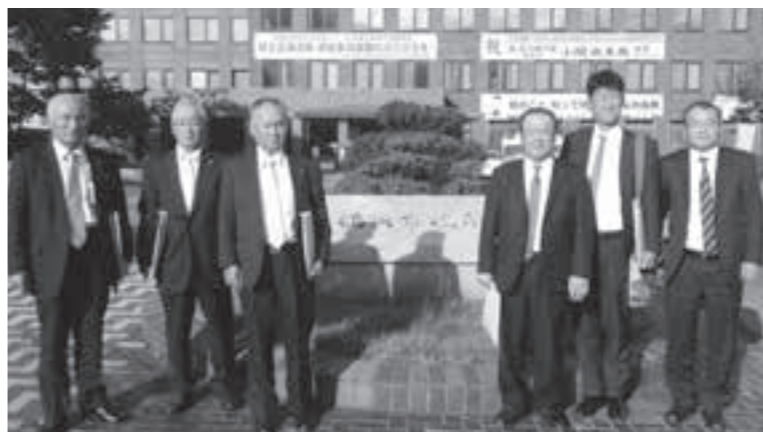
開催日：平成28年11月1日(火)～3日(木)

新潟県魚沼市の取り組み「魚沼ブランド推奨制度」及び山形県鶴岡市の取り組み「メロン振興策及び販売対策」について調査研究するため、行政視察を行いました。

魚沼市では、「食でつながる元気なまちづくり」を進めており、ブランド推奨制度については、推奨品とされることで生産者の意欲の向上、市内の地産地消の推進を図れるとともに、市外に広く魚沼ブランドをアピールすることができることでした。

次に、メロン振興策及び販売対策について鶴岡市では、栽培者数や栽培面積が年々減少してきていることから、その課題解決のために、若手生産者対象の栽培講習会やメロンの後作物の導入指導などを実施し、後継者育成、生産基盤強化に取り組んでいました。

鉾田市も農業が基幹産業でありますので、両市の取り組みを参考とし、鉾田市の農業施策の推進と産業の発展につなげてまいりたいと思います。



委員会活動報告

厚生文教常任委員会行政視察

開催日：平成28年11月9日(水)～11日(金)

静岡県三島市の「スマートウエルネスみしまアクションプラン」及び山梨県甲州市の「歴史的風致維持向上計画」について調査研究するため、行政視察を行いました。

三島市では、少子高齢化の進展が予想されることから「スマートウエルネスみしま」というプロジェクトを核とした、市民が自然に健康で豊かになれる都市モデルの構築を図るため様々な事業を実施していました。中でも、健康に関心のない住民に無意識のうちに健康づくり事業に参加してもらう取り組みや、民間企業と協働した事業の展開などは大変参考となりました。

甲州市では、指定文化財や登録有形文化財などの歴史上価値の高い文化財が多数あることから、「歴史的風致維持向上計画」を策定して魅力的な街並みの形成を図っていました。鉾田市にも、歴史的価値の高い文化財が存在しておりますので、研修の成果を文化財の保護・活用の推進に活かしてまいります。



鉾田市議会報告会を開催します！

本市議会では市民と一体となった自治体運営を目指すため、議会活動の状況を市民の皆様へ直接報告・説明し、市政に対する情報の提供に努め、さらには市民の皆様への市政に対するご意見などを直接聴取する機会を得るために、議会報告会を開催いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2月4日(土)
午後2時から
場所：鉾田市
福祉事務所2階



傍聴者の声



菅野谷区長
側高 重男

本会議、一般質問を傍聴させて頂き、各議員と行政の関係者の質疑応答を生で体験させて頂き有意義でした。事前通告の質問に対しての答弁の為、比較的スムーズに進行していたと感じました。物事の考え方として、木を見て林を見、森を見るという考え方がありますが、長いスパンで捉えての判断も必要と思います。市民全てに賛成して頂ける方策などありません。優先順位とメリハリを付けた議会内容を期待いたします。

平成29年第1回(3月)定例会日程(予定)

月 日	会 議 内 容
2月28日(火)	本会議 開会
3月3日(金)	会派代表者質問
3月6日(月)	一般質問
3月7日(火)	一般質問
3月9日(木)	本会議
3月10日(金)	本会議
3月13日(月)	予算特別委員会
3月14日(火)	予算特別委員会
3月15日(水)	予算特別委員会
3月17日(金)	常任委員会
3月21日(火)	常任委員会
3月22日(水)	常任委員会
3月24日(金)	本会議 閉会

※日程は変更になる場合があります。

平成28年第4回(12月)定例会の延傍聴者数63名



編集後記

最近「トップセールス」という言葉を見聞きします。これは、自治体の首長が先頭となり、企業を回って工場誘致や企業版ふるさと納税をお願いするものです。

昨年12月24日付、茨城新聞の一面には、境町の町長が、町の事業推進の為に「トップセールス」により寄付企業を開拓しているとの記事が掲載されました。

また、昨年の10月に和歌山県橋本市へ視察に行った際にも、企業誘致で「トップセールス」を行い、進出企業33社、うち操業企業26社と実績を上げ、経済産業省から「企業誘致に頑張る市町村20選」に選ばれたそうです。その20選に選ばれた市町村を調べてみると、やはり「トップセールス」という言葉が多かったです。

銚田市の発展には、この言葉「トップセールス」が鍵ではないかと思う次第です。

(郡司 功 委員長記)

- 委員長 郡司 功
副委員長 井川 倫士
委員 岸田 一夫
亀山 彰

渡辺 拓哉